

『ロータリークラブ 100周年で桜を植樹』

世界 166 か国に 120 万人の会員がいるロータリークラブの創立 100 周年を記念して、2月23日（水）、ふれあいの里公園内で桜などの植樹がありました。

植樹を行ったのは、南九州ロータリークラブの会員 29 人と大崎幼稚園の園児 53 人、大崎町役場建設課職員などで、ソメイヨシノ 1 本とコブシ 50 本が植えられました。

植樹にあたっては、会員があらかじめ掘っておいた穴に、園児が交代でコブシを植えていきました。大きなスコップは園児にとっては重かったようですが、大野貴也くん（6歳）は「上手にできました。」と笑顔でこたえてくれました。



『鹿児島中央駅長が来庁』

2月25日（金）、年に数回実施している町職員研修の講師として、現在、鹿児島中央駅の駅長である中村修さんが大崎町役場に来られました。

中村さんは、本町木入道の出身で、平成15年2月から鹿児島中央駅の駅長を務められています。講演では、新幹線や鹿児島中央駅を取り巻く現状、職場での人間関係、大隅半島がこれからどうあるべきかなど、いろいろなお話をいただきました。

大崎町がたいへん好きだという中村さんは「一番うれしいことは、鹿児島中央駅に大崎町の方が来てくださったとき。人とのふれあいを大事にしていきたいです。」と話されました。

『そお青年祭が大崎町で開催』

2月27日（日）、大崎町中央公民館で『第9回そお青年祭～未来へ走りだす（そお）～』が開催されました。

そお青年祭とは、曾於郡の大崎町・有明町・輝北町・大隅町・末吉町の青年団が集まり、年1回開催される文化祭です。

大崎町青年団の太鼓で幕を開けた今年の青年祭は、のど自慢、中沖小学校5年生のソーラン節の披露の後、各町の舞台発表が行われました。

大崎町青年団は一世風靡セピアとソーラン節を披露し、参加した他町の青年団員からは、歓声が沸き起こっていました。

